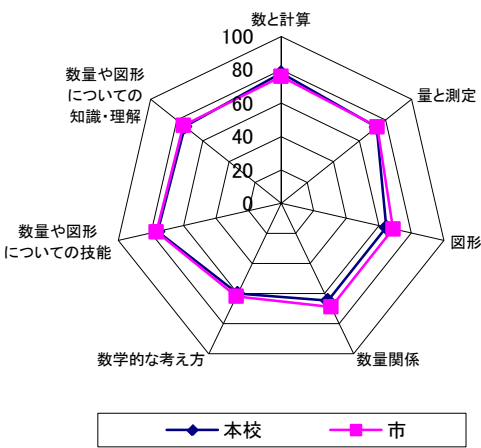


宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	78.0	76.1	73.5
	量と測定	73.1	73.6	70.1
	図形	64.6	68.8	66.6
	数量関係	64.7	68.9	64.5
観点別	数学的な考え方	60.1	61.8	54.9
	数量や図形□についての技能	75.8	76.7	73.2
	数量や図形□についての知識・理解	73.8	75.0	73.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○正答率は78. 0%であり、市の平均を上回っている。 ○小数の除法の文章問題を表した図を選んだり、小数の除法の文章問題に合った式を選んだりする設問においては、市の平均を上回っている。 ●小数のかけ算やわり算、分数のたし算やかけ算、わり算の計算問題では、5問中2問が市の平均を下回っている。	・ただ、計算問題をやらせるのではなく、どのような場面でどのような計算をするのかを考えさせて立式するような指導を心がけてきた成果であると考えられる。 ・単純な計算ミスや、計算方法を忘れていていると考えられるので、定着を図るために計算ドリルや計算プリントを活用し、繰り返し練習して正答率を上げていきたい。
量と測定	●正答率は73. 1%であり、市の平均を若干下回っている。 ●図形の外に高さがある図形の面積を求めたり、直方体を組み合わせた形の体積を求めたりする設問では、正答率が市の平均を下回っている。	・今まで学習した知識を使って、考えて解く問題が不得手であると考えられる。基礎的な問題だけではなく、応用問題にも多くふれさせていきたい。また、応用問題に取り組ませるにあたり、ペア学習やグループ学習でお互いに教え合ったり、児童に様々な解き方を説明させるなど、様々な解き方にふれさせていきたい。
図形	●正答率は64. 6%であり、市の平均を下回っている。 ●線対称な図形の対応する点を見つける設問においては、正答率が31. 9%であり、市の平均を17ポイントも下回っている。	・線対称と点対称の違いをしっかりと認識させ、線対称・点対称な図形の対応する点、対応する辺を理解できるようにする。また、理解が深まるように具体物を活用し、様々な問題にふれさせるようにする。
数量関係	●正答率は64. 7%であり、市の平均を下回っている。 ●反比例についての表を読み取り、比較量を求める設問では、正答率が25%であり、市の平均を16ポイントも下回っている。	・比例や反比例、学習において、文字を使って数量の関係を式に表すことが不得手であると考えられる。変化していく数量の表から、一方が増えたときにもう一方がどのように変化するかを考えさせたり、1つ1つの数量の関係を式に表すことで、決まった数を求められるようにする。